

3. 基本理念と方向性

阿賀野市の代表的な観光資源は、緑の自然とそこで育まれた安全・安心な農畜産物の食、体の治癒力を高める効果があるラジウム含有量日本有数の五頭温泉郷、そしてラムサール条約登録湿地の瓢湖です。



この地域特性を最大限に活かし、戦略的に観光振興を進めて行くためには、「住んでよし、訪れてよし」の環境保全を基本理念とし、“健康と食”“おもてなしの心”をキーワードに交流人口の拡大と、ここに住む私たちがふるさとに誇りと愛着を持つまちづくりを目指します。

また、新潟県が進める環日本海交流として韓国や中国・ロシアからの誘客活動を積極的に進め、国際観光立市も併せて目指します。

第2章 阿賀野市における観光資源の現状と課題

1. 観光の現状

阿賀野市の観光資源は、荒海山を源とする大河阿賀野川、県立五頭連峰自然公園を中心とした山々と森林、豊かな自然に抱かれた地で生産される農畜産物です。消費者と協働した環境保全農業によって生産される食は、どれもが安全・安心・新鮮で美味しく、まさに食の宝庫です。

また、日本有数のラジウム含有量を誇る村杉温泉に、県内最古の出湯温泉や今板温泉の三温泉からなる五頭温泉郷。

ラムサール条約登録湿地の白鳥を主とした20種類以上もの水鳥が飛来する瓢湖が代表的な観光資源です。

さらに市民のふれあいの場ともなっている六斎市、県政



発祥の地越後府天朝山公園、水原代官所、越後七不思議の孝順寺や梅護寺、また華報寺、観音寺、優婆尊、やまびこ通りなどの歴史・文化の名所があります。

そのほか、水原まつり、ふるさとだしの風まつりなど地域に根ざした多彩なイベントも多様で、特に政令指定都市新潟から身近で手頃な観光スポットとして親しまれ、年間 160 万人もの人々が四季を通じて癒しと安らぎを求め来訪しています。



.....**主な観光資源及び多彩なイベント**.....

温泉・宿泊施設

笹神地区の日本有数のラジウム含有量を誇る五頭温泉郷には、村杉温泉（旅館 7 軒）、今板温泉（1 軒）出湯温泉（5 軒）があり、閑静で美味しい料理やあたたかいもてなしで新潟の奥座敷として人気があります。また、出湯温泉には共同浴場が 2 ヶ所、村杉温泉には足湯、共同浴場、共同露天風呂がそれぞれ 1 ヶ所あります。



安田地区には美味しい料理のもてなしをモットーとする新咲花温泉の温泉宿泊施設ホテルさきはな、日帰り団体も受け入れをする民間の温泉保養施設やすらぎの湯があります。

また、割安に利用できる日帰り保養温泉施設としては、市営の宝珠温泉あかまつ荘や笹神地区の民間施設出湯うるおいの湯が

あります。

体験型の宿泊施設としては、水原地区に客室から白鳥やあやめを一望できるリズムハウス瓢湖、笹神地区には静かで緑豊かな森林の中で旬の食材を使った料理が堪能できるペンションや農作業体験とホテル観賞などが楽しめる農家民宿など、それぞれ個性ある宿泊施設がいくつかあります。



名所及び文化・歴史施設

《名所》

阿賀野市の代表的な名所は年間34万人もの人が訪れるラムサール条約登録湿地の瓢湖が一番に挙げられます。瓢湖周辺は水きん公園（24 号）として整備され、春の桜並木、初夏のあやめ、夏のハス、冬の白鳥など1年を通して市民をはじめ多くの人々から愛されています。



桜の名所としては、安田地区の約5kmにわたる新江の桜並木、水原地区の天朝山の桜や京ヶ瀬地区の下里の桜があります。市の花コスモスの見所は、京ヶ瀬地区黒瀬地内の国道49号沿線で見ることができます。

《伝統文化》

昔の生活や伝統文化を知ることのできる施設としては、出湯郷土資料館や水原地区のふるさと農業歴史資料館があります。

また安田地区には、「大日本地名辞書」を著した吉田東伍記念博物館があります。



《神社仏閣》

神社仏閣では水原地区の浄土真宗大谷派の名刹無為信寺、京ヶ瀬地区では親鸞聖人ゆかりの越後七不思議、珠数掛桜と八ツ房の梅がある梅護寺。安田地区にはかつての豪

農で越後七不思議の一つ三度栗がある孝順寺（旧齋藤邸）、上杉謙信が中興したと言われる臨沢山観音寺や寺社観音堂、八幡宮があります。笹神地区では弘法大師（空海）が開山したと言われる霊峰五頭の海満寺こと共同浴場でも馴染客の多い華報寺や優婆尊など史跡が多くあります。



《歴史》

歴史面では、県政発祥の地として平成 11 年に天朝山公園に矢倉を、平成 7 年に水原城跡地に水原代官所を復元しています。また、笹岡城跡や県指定の安田城跡が現存しています。



レジャー施設

レジャー施設としては、東北随一といわれ多くの家族連れ等で賑わうサントピアワールドと世界の植物が競演する日本海側随一の熱帯植物園の安田フラワーガーデンがあります。

また近年、スポーツとして定着しているゴルフ場は、イーストヒルゴルフクラブと笹神五頭ゴルフクラブがあります。

アウトドアライフ

笹神地区の五頭山麓には、五頭山麓県民いこいの森キャンプ場、奥村杉キャンプ場、どんぐりの森キャンプ場の三つのキャンプ場があり、青少年健全育成施設の五頭連峰少年自然の家と共に、家族連れや学校、団体など多くの県民から利用されています。

また宝珠山麓には、赤松山キャンプ場があり、宝珠温泉あかまつ荘と一体となった利用が可能です。



五頭山や宝珠山は手頃な家族向けの登山コースとして人気があり、年間約 85,000 人が登山に訪れています。

森林浴を楽しむには、200 種の薬草を観察することができる五頭薬用植物園を中心と

する秋取山トレッキングコースや中部北陸自然歩道のやまびこ通りがあります。

交流及び体験の場

阿賀野市の交流の場として代表的な施設は、村杉温泉の入り口にある「うららの森情報発信館・体験学習館・ふれあい村杉即売所」で、年間約12万人が訪れています。また、月6回開催される水原六斎市（4と8の付く日）」や保田市（5と9の付く日）があります。

このほか市内11ヵ所に野菜即売所があり、市内外の買い物客が多く訪れ、交流・ふれあいの場となっています。

また体験では、異業種が集まったGOZU ゆうきの里体験塾が組織化されており、陶芸、そば打ち、農作業、木工体験など豊富なメニューで、訪れる人々に楽しい余暇の時間を提供しています。

自然・環境・湧水

笹神地区は平成2年3月に「ゆうきの里ささかみ」を都市消費者と協働して宣言し、自然環境（水や緑）を大切にしたい環境保全型農業に取り組んでいます。

また、五頭山麓には7つの清水場（岩瀬の清水・歓迎塔の清水・優婆尊の清水・秋取の清水・木田橋の清水・薬師の清水・権現山の清水）があり、朝から多くの方が湧水を求め訪れています。



代表的名品・特産品

ヤスダヨーグルト



地元・安田の牛乳を使った飲むヨーグルトは特に女性に人気があり、2008年、国際食品品評会（本部ベルギー）でモンド・セレクション最高賞を受賞しました。

三角だるま

全国玩具展推奨品を受賞し、
伝統の民芸品として静かな人
気があります。



安田瓦

古くから品質の高い屋根瓦や
鬼瓦の製造に取り組んでおり、
雪国に適した品質と気品の高さ
から広いシェアを持っています。



地ビール

緑の自然環境の中で地元の美味しい水を使ったワイナリー地
ビールは人気が高く、黒ビールは2000年のワールドビアカップ
(ビールのオリンピック)において日本初の世界一の金賞を受賞
したほか、これまで49個のメダルを獲得しており、品質は折り
紙付きです。

このほかにも、和菓子や清酒・味噌や醤油・豆腐・油揚げ・こんにやくの加工品や陶器・竹細工・わら細工など伝統的な特産品がたくさんあります。また、有機・特別栽培農産物も名産品の一つに数えられます。

伝統行事・イベント（別紙）

このほか、各自治会での伝統祭礼（神楽・獅子舞）等が多数開催
されています。

2. 課 題

阿賀野市の地場産品（特産品等）の掘り起しと再認識が不足して
いる。

自然は豊富だが、観光資源としての活かし方が足りない。

市街地に活気と特徴が無く、観光資源との連携が図れていない。

レジャー産業・温泉旅館業・各産業等の連携が乏しく、観光PR・推進体制（営業）の連携強化を図る必要がある。
各種体験受け入れ体制の整備、多様な体験メニューの構築が必要。
観光資源が分散しており、ネットワーク化が必要。
もてなしの精神を磨く必要がある。また、もっと多様な宿泊メニューの検討が必要。
観光施設が点在し点と線で結ばれていない。また、関係者の連携も薄い。このため滞在時間が短く金が落ちないことから、関係者・施設の連携による滞在時間の長い独自の観光コースの構築が必要。
全国的に同じような観光戦略を練っているライバルが多い。よそより秀でたものを掘り起こし、オンリーワンプランを創る必要がある。

